

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-100/10C	16-003	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
MicroRNAs and Drinking: Association between the Pre-miR-27a rs895819 Polymorphism and Alcohol Consumption in a Mediterranean Population. マイクロ RNA と飲酒：地中海沿岸住民にける Pre-miRa rs895819 遺伝子多型と飲酒		
執筆者		
Barragán R, Coltell O, Asensio EM, Francés F, Sorlí JV, Estruch R, Salas-Huetos A, Ordovas JM, Corella D.		
掲載誌		
Int J Mol Sci. 2016 Aug 16;17(8). pii: E1338. doi: 10.3390/ijms17081338.		
キーワード		PMID
マイクロ RNA、酒、miR27a、地中海沿岸		27537871
要 旨		
背景：		
<p>近年、飲酒において、マイクロ RNA はこれまでとは異なる抑制因子であること、アルコール中毒者ではマイクロ RNA の発現プロファイルが異なることが分かってきた。しかしながら、地域住民を対象にしてマイクロ RNA をコードする遺伝子多型と日常飲酒について検討した研究はない。</p>		
目的：		
<p>高齢一般住民を対象に、pre-miR-27a (rs895819 A>G) 遺伝子の機能多型と飲酒の関係を明らかにする。</p>		
方法：		
<p>バレンシア地方の住民を対象にした PREDIMED 研究(男女 1,007 名、67±7 歳)のデータを用いて横断的に検討した。飲酒総量およびアルコール種類別量を妥当性が確認された質問票を用いて調査した。</p>		
結果：		
<p>pre-miR-27a の遺伝子型の分布は、AA(n=540)、AG(n=381)、GG(n=86)であり、遺伝子多型と総飲酒量には強い正の相関を認めた (AA:5.2±0.4g/day, AG:5.9±0.5 g/day, GG:9.1±1.8g/day; 傾向性の P 値=0.019)。また pre-miR-27a 遺伝子多型と多量飲酒(1 日の飲酒が男性>26g/day、女性>13g/day)は有意な関連を認めた(AA 5.9%、AG7.6%、GG 17.5%; 傾向性の p 値<0.001)。性・肥満の有無・地中海食パターンの有無別に行った感度分析では、異質性を認めなかった。</p>		
結論：		
<p>Pre-miRa rs895819 遺伝子多型と日常飲酒の関係が有意であることを初めて示した。</p>		